

農委だより

No. 75

令和6年
1月1日発行



農業委員会
会長

木部 富次 さん



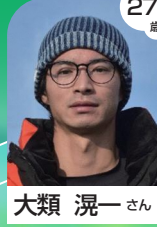
推進委員

西田 茂夫 さん



26 歳

木部 翔太 さん



27 歳

大類 滉一 さん



29 歳

中島 威 さん



32 歳

奥地 良啓 さん



33 歳

田中 拓也 さん



Tamai district



33 歳

浅見 悟一 さん



43 歳

鯨井 義之 さん



64 歳

小林 栄一 さん



60 歳

新島 一英 さん



59 歳

浅見 孝良 さん



55 歳

小宮 昇 さん



48 歳

石関 太喜男 さん



48 歳

木部 貴之 さん



44 歳

小林 拓也 さん

地域計画の策定が始まります

農地を活かし、地域を守る

先行地区：玉井地区



熊谷市農業委員長
木部 富次

新年の挨拶

あけましておめでとうございます。

日本の農業は、ウクライナ情勢による生産資材の価格高騰の中、農産物の販売価格には転嫁できず、10年後には日本農業が崩壊しかねない状況です。私の周囲においても、年々離農者が増加しており、地域農業をどの様にしたら守っていけるのかを常日頃考えさせられるばかりです。そのような状況で埼玉県農業会議において、令和6年度県農地等利用最適化の推進施策に関する意見書の提出をしました。令和5年4月1日から、改正農業経営基盤強化促進法が施行され、県における農業経営基盤強化促進基本方針や市町村における基本構想が改正され、新たな政策目標が設定されました。

そこで、基本構想を踏まえ、地域計画の策定及び達成のための活動が本市においても本格化します。

また、熊谷市の若手育成に、私は力を注ぎました。埼玉県農業大学校、埼玉県大里農林振興センター農業支援部、JAくまがや及び熊谷市の協力により、熊谷市明日の農業担い手育成塾も開講し、現在次世代の農業を支える若手の方を受け入れ研修を行っているところでもあり、塾長としても非常に期待しています。また、9月の農地パトロールにおいては、新たに今までの紙の地図に代わりタブレット導入による農地パトロールも実施し、デジタル化した情報や技術を有効に活用していきます。

今後も、熊谷市農業がますます活性化することに期待し努力していく所存でございますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



熊谷市長
小林 哲也

新年の挨拶

あけましておめでとうございます。皆様には、希望と期待に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「5類」に移行し、うちわ祭や花火大会などのイベントが盛大に開催され、皆様の日常がより活気づいた一年だったかと思えます。

しかし、世界情勢は一層不安定化する兆しを見せ、円安や人手不足がそれに追い打ちをかけ、これらと連動して燃料、生産資材、肥料、飼料などの価格高騰は、農業生産コストの増加をもたらし、伸び悩む販売価格と相まって、農家の皆様の負担が増大している状況は大変厳しいものであると認

識しております。加えて、かねてからの農業者の高齢化や担い手不足により、遊休農地の増加に拍車がかかることとなっています。

農業を元気にすることは私の大きな政策の柱の一つであり、新規就農総合支援事業などの新規就農者に対する支援や、元気な農業支援事業など現役の農家を応援する施策を実施しているところです。今年も、皆様と力を合わせ、農業を元気にしてまいりたいと存じます。

本年8月末に農業委員、農地利用最適化推進委員の任期満了を迎えることから、新委員の募集を行います。各地区において、委員の推薦等について話し合いを進めていただければと存じます。

結びに、新しい年がだれもが笑顔になれる平和を招来できるよう、そして、皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

熊谷市農業委員及び農地利用最適化推進委員は令和 6 年 8 月 31 日に任期満了を迎えます。このため、推薦または応募により新委員の募集を行います。多様な意見を取り入れる観点から、女性や若手の推薦・応募についてよろしくお願いいたします。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
募集方法	個人、団体の推薦または候補者自身による応募	
資格	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる者	・農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、定められた区域内の農地等の利用の最適化の推進のための活動を行うことができる者 ・市内に住所を有する者
欠格事項	・破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者や拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者等（詳しくはおたずねください）	
任期	令和 6 年 9 月 1 日～令和 9 年 8 月 31 日	委嘱の日～令和 9 年 8 月 31 日
募集人数	19 人 ・公平、公正な判断のため中立委員として農業に従事していないものを 1 名以上含むこと。 ・認定農業者が過半を占めることが望ましい。	28 人 (市内 8 地区に分けて地区ごとに募集します。地区ごとの定数を参照。)
報酬	45,000 円 (月額) + 個々の実績による年額報酬	
主な職務内容	基本的には農業委員と農地利用最適化推進委員は相互に連携しながら同じ活動を行います。ただし、農地利用最適化推進委員は総会に出席し意見を述べることはできますが議決権は付与されません。 ○農地等の利用の最適化の推進のための活動 ・遊休農地の発生防止、解消 ・新規就農者、企業参入の支援 ・担い手への農地の集積と集約 ○農地法等関係法令に基づく審査・調査 ・総会における審査 ・農地パトロール ・現地確認 ○地域の農業の相談役としての活動 ・その他農業に関する相談 ・地域計画のための話合いの支援 等	
募集期間	令和 6 年 2 月 1 日 (木) ～令和 6 年 3 月 8 日 (金) (土日祝日を除く午前 9 時～午後 5 時まで受け付けます)	
推薦及び応募の方法	農業者または農業者が組織する団体、自治会等から推薦を受けて申し込む方法と自ら応募する方法があります。 所定の推薦・応募書類に必要事項を記入の上、農業委員会事務局（妻沼行政センター内）まで持参をしてください。持参以外の方法では受け付けできません。	
募集要項・申込書の入手方法	募集要項及び申込書は農業委員会事務局及び大里行政センター、江南行政センターで配布するほか、熊谷市ホームページからダウンロードすることもできます。	

農地利用最適化推進委員の地区ごとの定数

地区名	定数	地区名	定数
西部 1 (三尻 他)	3 人	西部 2 (別府 他)	3 人
東部 1 (上之 他)	3 人	東部 2 (中条 他)	3 人
南部 1 (江南 他)	5 人	南部 2 (大里)	4 人
北部 1 (男沼 他)	4 人	北部 2 (上根 他)	3 人



募集 Web サイト

募集説明会を開催します

候補者はもちろん、推薦を予定している方の出席をお願いします。

日時 令和 6 年 1 月 27 日 (土) 午後 2 時～ **場所** めめま農業研修センター 2 階大会議室

◆農業委員会事務局 農政係 TEL 048-501-5501

「地域計画」策定に向けた1回目の話合いが各地区で始まります！

「地域計画」とは？

近年の高齢化や人口減少により、今まで大切に守られてきた農地を適切に利用できなくなることが懸念されています。耕作者や農地をお持ちの方が抱える不安や課題を地域の課題として共有し、その解決に向けた糸口を探ることが「地域計画」の主旨となります。また、話合いで得られた課題や解決策に加えて、10年後誰がどこの農地を耕作していくかを農地1筆ごとに示した「目標地図」を作成し、将来の地域農業の在り方を可視化します。これにより、農地の集積・集約化を図ります。

話合いについて

話合いは地域ごとに下記の日程で行います。話合いではご自身が感じる課題や不安、希望など自由に意見を申し上げます。そのため、多くの方に出席いただくことが「地域計画」の内容をより濃くするものとなりますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。2回目以降の話合いの日程は農業政策課までお問い合わせください。

◆農業政策課 TEL 048-588-9990

日 時	場 所	大 字（農地の所在地）
12月6日実施済	JAくまがや西部営農経済センター	玉井、久保島、新堀、高柳
12月13日実施済	津田集会所	津田、向谷
12月19日実施済	大里コミュニティセンター東棟ホール	中曽根、吉所敷、津田新田、屈戸、沼黒、高本
1月10日（水）13:30～	JAくまがや大里支店 会議室	相上、玉作、箕輪、青山、小八林
1月11日（木）13:30～	大里コミュニティセンター東棟ホール	手島、上恩田、中恩田、下恩田、小泉
1月19日（金）13:30～	秦公民館	葛和田の一部、日向の一部、弁財、大野、俵瀬
2月1日（木）13:30～	長井公民館	上根、江波、八ツ口、善ヶ島、上須戸、西城、田島、西野
2月2日（金）13:30～	妻沼中央公民館 2階大会議室	男沼、妻沼台、出来島、間々田、妻沼小島、永井太田、飯塚、原井、八木田、道ヶ谷戸、上江袋、市ノ坪、妻沼、弥藤吾
2月9日（金）10:00～	JAくまがや別府玉井支店 会議室	西別府、東別府、下増田
2月9日（金）14:00～	JAくまがや西部営農経済センター	三ヶ尻、拾六間、新堀新田
2月16日（金）13:30～		柿沼、代、原島、肥塚、新島
2月21日（水）13:30～	JAくまがや南部営農経済センター	成沢、三本、上新田、押切、樋春、御正新田
2月29日（木）13:30～		須賀広、野原、小江川、塩、板井、柴、千代
3月1日（金）13:30～		村岡、万吉、楊井、平塚新田
3月6日（水）13:30～	JAくまがや東部営農経済センター	上奈良、下奈良、中奈良、奈良新田、四方寺
3月8日（金）13:30～		上中条、今井、小曾根、大塚
3月14日（木）13:30～		久下、新川、太井
3月15日（金）13:30～		池上、下川上
3月18日（月）13:30～	JAくまがや佐久良支店 会議室	佐谷田、戸出、平戸
3月22日（金）10:00～	JAくまがや東部営農経済センター	上之、上川上
3月22日（金）10:00～	JAくまがや西部営農経済センター	大麻生、広瀬、小島、武体、川原明戸、石原

西部第1 玉井地区

Tamai district

玉井地区は、米麦農家中心に、ヨーロッパ野菜や、多種類のいちごを栽培している農家があります。

地区を担当する木部会長と西田推進委員は、地域の担い手や新規就農者の育成などに尽力し、農地を活かし、地域を守る活動を日々行っています。

地域計画では、玉井地区は先行地区として8月に1回目の話し合いを行い、21名が出席し、各々の考える農業の課題等について意見が出



ました。12月の2回目は、39名が出席し、今後の農地利用について話し合いをしました。これからも、遊休農地の増加の防止、担い手への農地の集積、集約化に向けて、地域計画の話し合いを行います。

令和6年度 熊谷市農業施策に関する意見書を提出

農業委員会では、農業に関する専門的立場から農業委員会等に関する法律に基づき、熊谷市の農地利用の最適化をより効率的かつ効果的に実施するために必要な施策の改善等について意見を取りまとめ、10月2日、木部農業委員会会長、夏目会長職務代理から小林市長に意見書を提出しました。

遊休農地対策や農地の有効活用、担い手の育成と支援などについて、10項目にわたって提言をしています。中でも増大が懸念される遊休農地の対策について、農業資材の高騰に対する支援や離農のきっかけとなりやすい機械更新に対する援助などをお願いするとともに、今後推進される農地中間管理事業に関



する丁寧な説明を行うよう、小林市長に対して木部会長、夏目職務代理から要望を行いました。今後も、熊谷の「元気な農業を創る」ため、農業委員会が一丸となって活動し、意見を表明してまいります。

令和5年度熊谷市 農地パトロール結果の公表

遊休農地の面積は109.3ha
昨年 から 約12.5ha 増加

農業委員会では、8月から9月に、農業委員と農地利用最適化推進委員が協力し、市内全域の農地パトロールを実施しました。

単位 (㎡)

新たな遊休農地	再発生遊休農地	解消された農地	令和5年度遊休農地
124,811	75,351	72,077	1,093,927

優良農家表彰

12月22日優良農家が表彰されました。今年は、1個人1法人1団体が表彰されましたので紹介します（敬称略順不同）



株式会社太陽ファーム奈良
代表取締役社長

田中 輝久 さん

奈良新田【部門】複合経営

経営の内容にマッチした大型機械化体系を実現しており、近年は青パパイヤなどの栽培にも取り組み、経営の安定化を図っている。

また、周辺農業者の雇用に積極的であるとともに、離農者の農地を積極的に借り入れ、不耕作地の解消にも寄与している。



関口 和弘 さん

万吉【部門】複合経営

多様な作業が多い中、先進的な農機、設備等を積極的に導入し、また、近年はいちご栽培にも取り組み、販路を拡大している。

離農者の農地を積極的に引き受け、遊休地や荒廃地の抑制に貢献している。



熊谷市農業経営者協議会
妻沼地区会 会長

定方 英樹 さん

【部門】団体

生産技術の創意工夫を情報交換し、研修を通じて高い技術水準の維持向上に取り組んでいる。

水稻病害虫共同防除事業や、新品種の試験ほ場、農薬などの展示ほ場を実施し、主穀作物の品質向上に取り組んでいる。

農地中間管理事業、人・農地プランに積極的に参加し、農地利用集積を実施している。

令和5年度「熊谷ファームラボ」認定プレーヤー決定！



令和5年度

「熊谷ファームラボ」

認定プレーヤー

認定番号 農産物 第3号
熊谷青パパイヤ研究会
会長 大久保 照夫 氏

認定対象 青パパイヤ

認定番号 農産物 第4号
ゆたか農場 塚田 とよ子 氏

認定対象 古代もち麦

認定番号 加工品 第2号
株式会社熊谷青果市場
代表取締役社長 飛田 修 氏

認定対象 フルベルジェラート

令和5年度の『熊谷ファームラボ』プロジェクトにおいて、「熊谷ファームラボ」認定プレーヤーの公募を行ったところ、本年度も農産物及び加工品で多数のご応募いただきました。10月24日に認定審査会を開催し、厳正なる審査の結果、農産物2件、加工品1件を「熊谷ファームラボ」認定プレーヤーとして決定しました！




認定プレーヤーの皆様は、これから熊谷市農産物ブランド化推進協議会のサポートにより、「熊谷の顔」となるブランドを目指していきます。

ラグビーボール型かぼちゃの栽培 について

市内ではラグビーが盛んな地域にちなんで、2020年からラグビーボール型かぼちゃ（品種：ロロン）の栽培が行われています。2020年に3人から栽培が始まり、2023年には生産者が27人に増え、作付面積も138アールになりました。「ロロン」はラグビーボールの形が特徴で、上品な甘さと滑らかな舌触りで食味が優れる品種です。

熊谷市では2022年に「熊谷市農産物ブランド化戦略」を策定し、熊谷の顔となる農産物及び農産物加工品のブランド化を推進しています。2022年11月にロロンかぼちゃが「熊谷ファームラボ」プレイヤー（農産物）として認定されました。大里農林振興センターでは収量・品質向上のための栽培技術に関する支援を行っています。

ロロンかぼちゃ栽培暦（例）

月旬	3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	○-----○			×-----×									□					
																		
	○：は種 ×：定植 □：収穫																	

栽培のポイント

- 大葉、太づるのため慣行に比べ基肥を窒素成分で2割減とする。
- 育苗前半は日中20～27℃、夜間は15～18℃に管理し、定植数日前から外気に馴らす。
- 定植後、遅霜の危険があるときはホットキャップやベタがけで保温する。
- 本葉4～5枚で摘芯し、子づる2～3本仕立てとする。
- 10節以降に着果させると形がラグビーボール型になりやすい。
- グランドマーク（果実の着色不良）を防止するためマットを設置する。
- 日焼け防止のため、専用のテープで果実を覆う。
- 食味の良いかぼちゃにするため、開花後の積算気温1000度前後（40～45日）で収穫する。
- 収穫後は7～10日風乾し、コルク化を促す。



収穫適期のかぼちゃ



日焼けテープの貼付姿、下はマット

栽培については大里農林振興センターへお問い合わせください。

◆大里農林振興センター農業支援部

TEL 048-526-2210

令和6年度申告 ～事業所得等申告相談会のご案内～

確定申告や市民税・県民税申告に先立ち、令和5年分の農業収入や必要経費の計算方法（白色申告に限る。）、その他申告全般に関して不明な点がある方を対象に下記のとおり相談会を開催します。

開催日	令和6年1月29日（月）～31日（水）【電話による事前予約が必要です】
会場	熊谷市役所1階ホール北側 特設会場
受付時間	午前の部 ① 9時～10時 ② 10時～11時 ③ 11時～12時 午後の部 ④ 13時～14時 ⑤ 14時～15時 ⑥ 15時～16時

※完全予約制です。参加希望の方は、市民税課にご連絡ください。

【予約受付開始：1月9日（火）】※「申告相談会の予約がしたい」とお伝えください。

※ご自身で収支計算できる場合や、税理士等に依頼される場合には参加は不要です。

※青色申告の方は熊谷税務署（TEL 048-521-2905）にご相談ください。

【予約・問合せ】市民税課市民税係 TEL 048-524-1111（内線 246・247）

熊谷市国民健康保険・後期高齢者医療制度に 加入している方へ大切なお知らせ

約1万円の健診が無料で受けられます！

現在通院中の方も受診できます。ぜひ受診しましょう！



健診用 Web サイト

◆保険年金課 TEL 048-524-1111 内線 276（特定健診）・302（長寿健診）

健診名	対象者	健診内容	健診期間	健診場所	自己負担額
特定健診	熊谷市国民健康保険に加入している 40歳～74歳の方	身体計測（身長、体重等） 診察・血圧測定	令和6年 3月31日（日） まで	市内75の 指定医療 機関	無料
長寿健診	75歳以上の後期高齢者医療制度に加入している方 （65歳以上で一定の障がいがあると認定を受けて加入している方を含む）	血液検査 （脂質・肝機能・血糖・腎機能） 尿検査・貧血検査 心電図検査・尿酸検査			

※人間ドック検査料の助成を希望する方、または既に受検済の方は受診できませんのでご注意ください。

※該当する方には、受診券・受診案内等を送付しています。受診券がない方は、お早めにお問い合わせください。

※他の健康保険に加入している方は、加入している健康保険にお問い合わせください。

編集後記

編集委員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 本年も「くまがや農委だより」をお読みいただきありがとうございます。
 おかげさまで75号をお届けすることができました。
 昨年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限が緩和され
 まして少し編集作業もやり易くなりました。
 早いもので今年度も第4四半期となり、次年度に向けての情報提供が多
 くなりました。
 今後も、皆様のご協力をいただきまして情報発信してまいりたいと思
 います。どうぞよろしく願いいたします。（編集委員 夏目 亮一）

委員長 森田 豊
 副委員長 中嶋 儀臣
 委員 福島 清一
 委員 石井 芳夫
 委員 栗原 一森
 委員 吉田 正己
 委員 柿沼 憲雄
 委員 林 和弥
 委員 木部 富次
 委員 夏目 亮一